

平成29年度 佐賀大学大学院 学校教育学研究科 (教職大学院)



日時

2018年2月9日(金)
12:30 ~ 16:30

場所

佐賀県教育センター
佐賀県佐賀市
大和町大字川上

参加費 無料

研究成果発表会

今年度修了予定者(現職教員院生10名, 学部卒院生11名)が, 教職大学院での2年間の研究成果を発表します。学校関係者の皆様, 教職大学院に関心をお持ちの方々のご参加を心よりお待ちしております。

日程

時 間	授業実践探究 コースⅠ	授業実践探究 コースⅡ	子ども支援探 究コース	教育経営探究 コース
12:30 ~ 13:00	受 付			
13:00 ~ 13:20	開 会 行 事			
13:20 ~ 13:45	井手 瑞恵	副島 佳織	川浪 博文	中西 美香
13:45 ~ 14:10	岩元 正悟	原 里美	古閑 美保子	野崎 愛子
14:10 ~ 14:35	江里口 舞	三浦 未来	待鳥 美奈	馬場 克
休憩 15分				
14:50 ~ 15:15	嘉村 範史	峯 勇太		林 幸児
15:15 ~ 15:40	古賀 萌子	横尾 健斗		古川 英治
15:40 ~ 16:05	清水 皓太	渡辺 正樹		吉野 浩二
16:10 ~ 16:30	総括・閉会行事			

<問い合わせ・申し込み先>

佐賀大学 学校教育学研究科(教育学部総務)

〒840-8502 佐賀市本庄町1

TEL 0952-28-8213 FAX 0952-28-8219

E-Mail bunsomu@mail.admin.saga-u.ac.jp

2月2日(金)までにメールにて申し込みをお願いします。

申し込み無しでの参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込み下さい。

主催

佐賀大学大学院
学校教育学研究科
佐賀県教育委員会

平成29年度 佐賀大学大学院 学校教育学研究科（教職大学院）

研究成果発表会 発表者・発表テーマ

「理論と実践の往還」を原理としたカリキュラムにより、探究実習を積み上げ学修した成果の発表を行います

授業実践探究コース		発表テーマ
現職院生	井手 瑞恵	児童の自覚的な学びの育成についての実践研究 ーヴィゴツキーの理論を援用した授業の在り方についてー
	嘉村 範史	生物におけるコンセプトマップを用いた研究
	原 里美	教師のアンラーンを具現化する授業改善と授業研究のあり方についての研究
一般院生	岩元 正悟	『伝え合う力』の育成を目指した英語授業の実践研究 ー帯活動と発問構成の工夫を通してー
	江里口 舞	根拠を追究する姿勢を育成するための授業方法の検討 ー予想を取り入れた授業実践を通してー
	古賀 萌子	教室空間における「対話的学び」の考察
	清水 皓太	構成主義的学習観を踏まえた授業づくりの研究 ー小学校体育授業におけるマッピング図の活用を通してー
	副島 佳織	『逆向き設計』論に基づく思考力の育成に寄与する授業の研究
	三浦 未来	市民的アイデンティティの形成を目指す社会科授業開発の研究 ー二人称的アプローチによる社会参加の活動を中心にー
	峯 勇太	学習者のエンパワーメントを引き出すための授業開発 ー連峰型スポーツモデルを意識した高等学校における保健体育授業を通してー
	横尾 健斗	社会科授業の生態学的転換 ープランからアフォーダンスへー
	渡辺 正樹	フロー体験の生起を目指す授業づくりのあり方について ー中学校体育授業における継続的な運動・スポーツに親しむ資質・能力の育成ー
子ども支援探究コース		
現職院生	川浪 博文	特別支援教育の視点に立った校内支援体制の構築と効果的な運用 ー特別支援教育コーディネーターを中心にした学級担任への支援の方策を探るー
一般院生	古閑 美保子	子どもの姿からみる幼小接続の在り方
	待鳥 美奈	ソーシャルスキルトレーニングが小学生の対人関係スキルに及ぼす影響について
教育経営探究コース		
現職院生	中西 美香	教職員の連携・協働づくりと学校変革に関する教育実践研究 ーフロンティア委員会」の設置を通じた学校活性化ー
	野崎 愛子	教員の「協働文化」を高める研究 ーミドルリーダーによる校内研究の活性化を通してー
	馬場 克	地域連携を深めるための効果的なコーディネートの在り方を探る ーPTAと学校の連携の充実ー
	林 幸児	生徒の主体的な学びのための学校づくりの在り方に関する一考察
	古川 英治	小規模校における学校改善ー目指す生徒像を基にした学校活性化を目指してー
	吉野 浩二	地域とともに創る学校 ー「響け伊小の会」の取組を通して地域との連携の在り方を探るー

